

# 職務経歴書

平成29年5月1日

氏名 佐藤 真澄

## 【職務経歴】

- 
1. ヤマト運輸株式会社（正社員）（平成3年4月～平成16年3月）  
資本金500億円 従業員数16万人 運輸・サービス業（平成29年3月）
- 

### ◆職務内容

平成3年 長野主管支店 宅急便営業所に配属。

運行管理、労務管理、経理、給与等の実務を学ぶ。

平成9年 福井主管支店 宅急便営業所長拝命

運行管理、労務管理、経理、給与等の実務及び業務指導。収支管理。

平成11年 ヤマトロジスティクスプロデュース株式会社（現ヤマトロジスティクス株式会社）駐在

新会社発足に伴い営業応援。法人営業専門の会社。通販物流の出荷代行委託に関する提案業務。

平成13年 長岡主管支店 営業課に配属。

新規顧客開拓業務に従事。

平成15年 新潟主管支店 新潟物流センター長拝命

平成16年 同店がヤマトロジスティクス株式会社に吸収されることに伴い、転籍。

### ◆主な担当業務

営業所における運行管理、労務管理、経理、給与等の実務執行と業務指導を行う店舗責任者。

新入社員の採用、教育。営業：新規開拓、既存顧客管理。収支管理の店舗責任者。

### ◆研修実績

新人教育として、企業理念・会社概要・自社製品知識・ビジネスマナー、安全（運転実務、労災予防）など実施。

- 
2. ヤマトロジスティクス株式会社（正社員）（平成16年4月～平成25年3月）  
資本金 10億円 従業員数2,300名 運輸・サービス業（平成29年3月）
- 

平成16年 所属店がヤマトロジスティクス株式会社に吸収されることに伴い、転籍。

## ◆職務内容

平成16年 北信越支店長兼新潟物流センター長拝命

新規顧客開拓、倉庫管理、労務管理、経理、給与等の実務及び業務指導

平成17年 北日本統括支店 管理課長拝命

組織再編に伴う管理店新設、立ち上げの業務。(管下従業員数 130名)

北海道、東北、新潟の物流センターを管下に置く部門。営業以外の管理責任者。

採用や従業員の福利厚生に関する受付窓口。経理、給与その他管理業務の管下店チェックの部署。

内部監査に適合させるため、各センターの自主監査、業務指導を行う。(コンプライアンス)

平成18年ごろ、管下に国際航空輸送、海上運送事業のセンターが移管され統括する。

航空、海運、新倉庫設立に関する国土交通省ほかへの許認可申請。

会計システムの統合により、過去のマニュアルでは対応しきれず、独自にマニュアルを作成。

平成20年 東京物流主管支店 管理課長拝命

組織再編に伴う管理店新設、立ち上げの業務。(管下従業員数 230名)

東京、神奈川、千葉、群馬の物流センターを管下に置く部門。営業以外の管理責任者。

採用や従業員の福利厚生に関する受付窓口。経理、給与その他管理業務の管下店チェックの部署。

内部監査に適合させるため、各センターの自主監査、業務指導を行う。(Pマーク、コンプライアンス)

内部統制システム導入に伴い、管下責任者および担当者への業務指導を行う。

管理者養成の研修会を実施。独自のマニュアルを作成し教育。多いときは80名ほどが参加。

10数名の管理職を養成。この研修会とマニュアルが元で本社に教育改革プロジェクトが立ち上がる。

平成24年 羽田プロジェクト

現職のまま、羽田クロノゲート(大規模複合物流施設)設立に伴い、プロジェクトに参画。

拠点集約の計画立案、スケジュール管理、許認可申請、事業計画の見直し、従業員への説明、

雇用契約の締結し直しなどの実務と統括を行う。

平成24年 西日本物流主管支店 管理課長拝命。

新規出店に伴う立ち上げ業務。新規採用目標150名。

採用実務、備品ほかの調達、採用教育指導。

平成25年 退職

実母の体調不良が原因で帰省することとなり、一身上の都合を理由に退職。

## ◆主な担当業務

採用や従業員の福利厚生に関する受付窓口。経理、給与その他管理業務の管下店チェック。統括管理責任者店舗業務を内部監査に適合させるため、定期巡回し自主監査・業務指導を行った。

内部統制システム、プライバシーマークなどに必要な書類関係のチェックを行った。

許認可申請。労務管理、雇用契約。防火管理、労災予防、その他法令上必要な管理者のコンプライアンス教育。

## ◆実績

### ・採用にかかわった人の数は1,000名以上。

全国転勤しながら多くの採用に関わったことで地域や店ごとの「採用がうまくいかない原因」がわかりました。

- ・過去、受け入れ態勢がお粗末で、本来すべき教育ができていなかった。
- ・短期の外部戦力を人数合わせだけで採用していた。
- ・教えても、すぐいなくなるという理由で、教育に積極的でなかった。
- ・結果、外部から使い捨てのイメージがはぐくまれた。

このような地域や店では、リピーターが少なく、ロコミもわるいことが傾向として見られました。

問題を解決するため、臨時戦力、とりわけ女性のパートタイマーのニーズを確認し、契約時間通りに退勤させる体制を作り上げたところ、大きな改善効果がありました。

冬季繁盛期に、募集をかけたところ集まりが悪く苦勞しているとミーティングで話をしたところ、パートタイマーの何人かが友人に声をかけてくれ、採用することができ、その年を乗り切ることができました。

契約時間通りに退勤させるデメリットとして、

残業が減り、給料が減ることに反発が来ると思っていたのですが、逆でした。

改善後のパートタイマーの声として、以下のようなものがありました。

- ・プライベートの予定が立てやすい（保育園の送迎など）
- ・夫とのけんかが減った。
- ・延長保育料を払わなくてよくなった。

結果的にこのセンターは生産性向上に意欲的となり、赤字から脱却し、営業利益率が3%~7%くらい出せるようになったと記憶しています。

### ・臨時戦力の正社員化、管理職の養成に注力。特に女性の登用に積極的に力を入れました。

会社全体の取り組みとして、有能な人材を固定化するため、正社員登用や管理職登用のチャンスは公平に与えられていましたが、審査方法に問題がありました。

エントリーシートに自己アピールと、取り組み実績を記入させ、書面審査したうえで執行役員の面接を経て登用を行っていましたが、一般の社員からは登用の評価基準（非公開）がよくわからない、と不平が出ました。

問題を解決するため、正社員あるいは管理職に必要な技術、知識などをチェックシートにし、自己評価させ、そのうえで、不明な点について個別で研修を受けられるシステムをつくりました。

技術、知識の水準合わせをしたうえで、あとはどれだけ会社に貢献できたかを競う形にしたことで、落ちても一定の納得感が得られるようになりました。

個別での研修教材は、財務、人事、コンプライアンスなど、本社の部署ごとに分けて作成し、**講師を本社の部長にお願いしました。この狙いはコミュニケーションです。**

受講生にトップの話の聞かせることは、高いモチベーションにつながると考え、また本社の部長に、現場の生の声を聞いてもらうことで、社内で何が起きているのか、何が足りなくてどのようなサポートを必要としているのかを、肌で感じてもらいたいと思ったからです。

また、人事決裁者である執行役員に講演や懇親会への出席を依頼しました。

いままで、書面で審査されたあと、一度きりの顔合わせで判断せざるを得なかった登用審査から、候補者の成長過程を見守っていただけるような教育システムに変更したことで、私自身にもより具体的な改善のアドバイスがもらえるようになり、良いチームワークが築けたと思っています。

結果として、10数名の管理職を養成できたことは自身の誇りであります。

この取り組みがきっかけで、本社に教育改革プロジェクトが発足し、研修で使ったマニュアルが本社のスタンダードマニュアルのベースとなりました。

#### **・コンプライアンス維持継続の取り組みとして、定期的な書面監査を実施しました。**

労働基準監督署や消防署などの立ち入り検査の立ち合いを、立場上何度も経験しているため、当然みられる部分は把握しています。

本社の監査は、年に一度あるかないか、でしたが、本社監査の直前に対策をしているようでは、本当の意味でコンプライアンスが定着したとは言えません。

月に一度、定期的に管下店を巡回し、書類のチェックや現場状況の把握をするようにした結果、監査での指摘事項は格段に減りました。

他の模範となるべく努力をして、自店（主管支店）の監査ではAランクをいただいています。

#### ◆ 保持資格

平成4年6月	運行管理者
平成8年10月	第一種衛生管理者
平成16年7月	倉庫管理主任者
平成18年8月	整備管理者
平成18年9月	安全管理者
平成18年11月	障がい者職業生活相談員

- 
3. 一般社団法人ライフサポートマネジメント研究所（業務委託）（平成28年1月～9月）新潟市  
従業員数3名、研究員10名 研修、ストレスチェックサービス
- 

ストレスチェック制度が平成27年12月に義務化となり、企業にストレスチェックサービスを提供するため50名以上の事業所を有する新潟県内企業にアプローチする営業代行の業務委託を受けました。  
ストレスチェック制度全般の知識が身についたことは、自身のメリットとなりました。

---

4. 職業訓練法人 魚沼サンティックスクール（業務委託）（平成28年5月～6月）新潟県南魚沼市  
県知事認定職業能力開発運営協会
- 

ハローワークで求職中の方を対象に、業種ごとの職業訓練を行うのが主な業務です。  
過去の経験を活かせる、安全衛生、事務養成などの講座を担当していました。

---

5. 新潟県立上越テクノスクール（業務委託）（平成28年6月）新潟県上越市  
県立職業能力開発学校
- 

YouTube 動画ビジネス活用セミナー（単発）を業務委託されました。  
動画は、マーケティング、研修教材など、多方面に活用できるため、以前から研究を続けてきました。  
内容は初心者向けですが、前回好評で、29年度は6月と11月の2回実施予定です。